

# 建設大臣賞

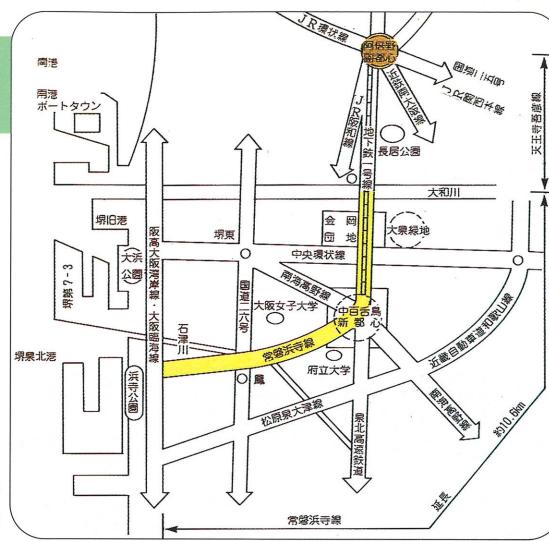
## 常磐浜寺線整備事業

(堺市)

■表彰対象者：大阪府土木部

### 表彰の理由

市街化の進展しつつある本地区において、地下鉄、共同溝、自転車駐車場を一体的かつ立体的に整備し、新市街地にふさわしい土地の高度利用を実現したものであり、計画性、経済性に優れた事業として評価されたものである。



整備後の常磐浜寺線（全景）

### 事業のあらまし

この事業は、大阪府域の新都心として整備の進む堺市の中百舌鳥地区において、南海高野線及び泉北高速鉄道との立体交差（アンダーパス）を行ったものである。本事業と併せて、地下空間には共同溝を設置するとともに、大阪市が地下鉄（大阪市高速鉄道1号線）を、さらに堺市が街路のアンダーパス部分の上空を活用して自転車駐車場を一体的かつ複合的に整備を行い、土地利用の高度化を図ったものである。

- 延長：1,681m
- 幅員：27~35m
- 全体事業費：2,377百万円  
うち街路事業費：2,377百万円
- 事業期間：昭和54年度～62年度



鉄道から北を望む



地下歩道と一緒に整備を行った地下鉄入口



アンダーパス部分の上空を活用した自転車駐車場



交差点から北を望む



府道との交差点から南を望む

### 事業の効果

この事業の完成により、大阪都心部と中百舌鳥新都心が、自動車交通と鉄道の両方で直結され、新都心の形成に大きく貢献するとともに、鉄道による地域分断の解消及び地域交通の円滑化が図られた。また、都市基盤施設の一体的整備がなされたことから、街路、鉄道駅、駅前広場、自転車駐車場等の都市施設間の歩行者連絡がスムーズになり、利用者の利便性の向上が図られた。